

沖縄本ナビゲーション2018年度版 ～知るための10冊～



沖縄の地図を知るための10冊

安里 進(沖縄県立芸術大学附属研究所客員研究員)・選

<絵図4点>

「首里古地図」(18世紀前半)沖縄県立図書館蔵

王府時代に使用されたとみられる首里城下の市街図。原図は沖縄戦で焼失。県立図書館が所蔵するものは東恩納寛淳が1910年に複製した原寸図。



首里古地図

「琉球国之図(薩摩藩調製琉球図)」(18世紀末)沖縄県立図書館蔵

首里王府が作成した「間切島針図」(1737～1750年)を縮小改訂した「琉球惣絵図」(1700年代後半)をさらに縮小改訂したものとみられる。作成者は題名の薩摩藩ではなく首里王府だとみられている。



琉球国之図

「首里城図」友寄喜恒作(王国末期)沖縄県立図書館蔵

王国時代の公的な画家(=絵師・えし)であった友寄喜恒(ともよせ・きこう)が明治以降に描いた作品。



首里城図

「首里那覇図」阿嘉宗教作(王国末期)沖縄県立図書館蔵

作者の阿嘉宗教(あか・そうきょう)は王国末期から明治にかけて多くの鳥瞰図を制作した。地図的要素と絵画性が見事に一体化している作品。



首里那覇図

沖縄本ナビゲーション2018年度版 ～知るための10冊～

<書籍 6 点>

『沖縄県史ビジュアル版 12 古琉球① 古地図にみる琉球』

(財) 沖縄県文化振興会史料編集室編(2003)沖縄県教育委員会文化課

1993 年にスタートした新沖縄県史編集事業の一環により発行されたビジュアル版の 12 冊目。貴重な資料が豊富に収録。



古地図にみる琉球

『琉球国絵図史料集』(第 1 ～ 3 集)

沖縄県教育委員会文化課編(1992 ～ 1994 年)榕樹書林

正保・元禄・天保の各年間に幕府の命によって編纂された琉球国絵図の全体像をオールカラー図版で復元し、関連史料の影印と翻刻を加えた。各巻共 A 全版原色刷の地図 3 枚を附す。



琉球国絵図史料集

『日本近世生活絵引 奄美・沖縄編』

(2014)神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター

絵巻物などの一場面を取り出して、描かれている事物や行為を解説する“絵引”。本書には「琉球交易港図屏風」「八重山蔵元絵師画稿」「琉球寫真景」の“絵引”が収録されている。

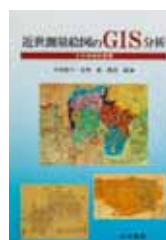


日本近世生活絵引
奄美・沖縄編

『近世測量絵図の GIS 分析—その地域的展開—』

平井松午・安里進・渡辺誠編(2014)古今書院

江戸時代各地域の測量事業と古地図・絵図の測量精度についての論文集。琉球王国の科学技術水準が本書で示されている。



近世測量絵図のGIS分析

『近世城下絵図の景観分析・GIS 分析』

平井松午編(2019 年 3 月刊行予定)古今書院

江戸時代の城下絵図に焦点をしばった 2019 年 3 月刊行予定の論文集。「首里那覇鳥瞰図」をめぐる景観分析論文が掲載されている。



近世城下絵図の景観分析・GIS分析

『絵図学入門』

杉本史子・磯永和貴・小野寺淳・ロナルド・トビ・中野等・平井松午編

(2011)東京大学出版会

近世に開花し、当時の世界観や社会への認識など多くを語る絵図。その基礎知識から調査・公開の具体的方法までを、多彩な分野の専門家がわかりやすく解説。絵図から歴史にアプローチする総合的入門書。



絵図学入門